

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成27年11月13日

【四半期会計期間】 第51期第3四半期(自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日)

【会社名】 高橋カーテンウォール工業株式会社

【英訳名】 TAKAHASHI CURTAIN WALL CORPORATION

【代表者の役職氏名】 取締役社長 高橋 武治

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

【電話番号】 (03)3271 1711(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理部長 影山 信博

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

【電話番号】 (03)3271 1711(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理部長 影山 信博

【縦覧に供する場所】 高橋カーテンウォール工業株式会社大阪支店
(大阪府大阪市北区中之島三丁目2番18号)

株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第50期 第3四半期 連結累計期間	第51期 第3四半期 連結累計期間	第50期
会計期間		自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日	自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日	自 平成26年1月1日 至 平成26年12月31日
売上高	(千円)	6,369,877	7,180,757	7,861,857
経常利益	(千円)	933,969	1,353,140	1,134,538
四半期(当期)純利益	(千円)	925,684	1,323,338	930,193
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	906,823	1,328,108	917,708
純資産額	(千円)	4,198,771	5,274,542	4,210,217
総資産額	(千円)	10,177,025	11,650,372	10,548,167
1株当たり四半期(当期)純利益 金額	(円)	105.25	148.76	105.49
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	104.40	148.50	104.58
自己資本比率	(%)	41.2	45.3	39.9

回次		第50期 第3四半期 連結会計期間	第51期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日	自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	47.76	47.54

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社における異動もありません。

なお、連結子会社である株式会社タラソシステムジャパンは、平成27年9月25日開催の取締役会において解散を決議し、現在清算中であります。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間における、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府や日銀による経済・金融政策によって企業収益や雇用環境は改善し、景気は緩やかな回復基調にあるものの、中国をはじめ新興国の経済悪化の波及懸念から先行きは不透明な状況で推移しました。

建設業界は、オリンピック需要の盛り上がりが見込まれているにもかかわらず、様々な要因で仕事が減少する局面にきています。

PCカーテンウォール業界においても今年度は業界各社の工場稼働率がそれほど高まらない見通しで、受注量確保が至上命題となっています。そうした環境の中、当社は業界最大手としての強みを活かし、工場の安定稼働に必要な仕事確保を目指す所存です。

また、工場の効率化推進、新商品の開発により、収益力の維持向上、マーケットの拡大を図ってゆきます。

当第3四半期連結累計期間における売上高は71億80百万円(前年同四半期比12.7%増)、営業利益13億44百万円(前年同四半期比44.5%増)、経常利益13億53百万円(前年同四半期比44.9%増)、四半期純利益13億23百万円(前年同四半期比43.0%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

PCカーテンウォール事業

当第3四半期連結会計期間の売上高は約16億円で、20億円を超えた第1、および第2四半期連結会計期間に及びませんが、採算面では粗利率が20%を超える良好な収益水準を維持できました。

当セグメントの売上高は67億78百万円(前年同四半期比14.2%増)、セグメント利益は13億65百万円(前年同四半期比45.3%増)となりました。

アクア事業

引き続き消防学校の訓練プール等主力である学校やスポーツクラブのプール以外のプラント工事事業の拡大を図っております。更に当社オリジナルプール可動床システムの販売促進に注力してゆきます。

当セグメントの売上高は3億64百万円(前年同四半期比41.8%増)、セグメント損失は20百万円(前年同四半期は5百万円のセグメント損失)となりました。

その他

その他は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業及びその他の建設事業(不動産賃貸事業を含む)であります。

当セグメントの売上高は37百万円(前年同四半期比78.8%減)、セグメント損失は1百万円(前年同四半期は5百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態の分析

資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は116億50百万円と前連結会計年度末と比較して11億2百万円の増加となりました。これは主に現金預金が4億2百万円、受取手形・完成工事未収入金等が5億63百万円及び電子記録債権が2億79百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債の状況

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は63億75百万円と前連結会計年度末と比較して37百万円の増加となりました。これは主に長期借入金が5億22百万円、その他固定負債が1億70百万円及び社債が1億55百万円それぞれ増加し、短期借入金が8億80百万円減少したことによるものであります。

純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は52億74百万円と前連結会計年度末と比較して10億64百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金が、四半期純利益の計上により13億23百万円増加したことと、配当金の支払いにより2億66百万円減少したことによるものであります。

(3) 事業上および財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社企業グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

特記事項はありません。

(5) 従業員数

連結会社の状況

当第3四半期連結累計期間において、著しい増減はありません。

提出会社の状況

当第3四半期累計期間において、著しい増減はありません。

(6) 生産、受注及び販売の実績

当第3四半期連結累計期間の状況につきましては、(1)経営成績の分析をご参照下さい。

(7) 主要な設備

当第3四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい変動及び主要な設備の前連結会計年度末における計画の著しい変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	36,500,000
計	36,500,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成27年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成27年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	9,553,011	9,553,011	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	9,553,011	9,553,011		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成27年9月30日		9,553,011		100,000		

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成27年6月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成27年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 653,200		
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,896,400	88,964	
単元未満株式	普通株式 3,411		
発行済株式総数	9,553,011		
総株主の議決権		88,964	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式11株が含まれております。

【自己株式等】

平成27年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 高橋カーテンウォール 工業株式会社	東京都中央区日本橋 本町1丁目5番4号	653,200		653,200	6.83
計		653,200		653,200	6.83

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に準拠して作成し、「建設業法施行規則」(昭和24年建設省令第14号)に準じて記載しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成27年7月1日から平成27年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成27年1月1日から平成27年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、八重洲監査法人により四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	313,793	716,167
受取手形・完成工事未収入金等	1,017,076	1,580,821
電子記録債権	708,420	988,036
未成工事支出金	4,004,132	3,588,553
その他のたな卸資産	70,483	63,127
その他	74,829	69,844
流動資産合計	6,188,734	7,006,550
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	419,446	585,547
土地	1,861,729	1,846,847
その他(純額)	183,617	287,872
有形固定資産合計	2,464,793	2,720,266
無形固定資産		
	26,659	25,017
投資その他の資産		
投資有価証券	209,951	201,410
投資不動産(純額)	156,207	155,341
保険積立金	729,058	773,266
退職給付に係る資産	101,769	98,661
その他	723,211	721,875
貸倒引当金	52,217	52,017
投資その他の資産合計	1,867,980	1,898,538
固定資産合計	4,359,432	4,643,822
資産合計	10,548,167	11,650,372
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,057,005	970,694
短期借入金	1,920,431	1,040,431
1年内償還予定の社債	155,000	165,000
未成工事受入金	1,902,057	1,837,694
引当金	43,139	95,125
その他	203,751	346,266
流動負債合計	5,281,384	4,455,211
固定負債		
社債	227,500	382,500
長期借入金	444,242	966,418
役員退職慰労引当金	333,099	349,645
その他	51,723	222,054
固定負債合計	1,056,565	1,920,618
負債合計	6,337,949	6,375,830

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,282,659	3,283,171
利益剰余金	912,232	1,968,856
自己株式	122,354	119,487
株主資本合計	4,172,537	5,232,540
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,896	41,665
その他の包括利益累計額合計	36,896	41,665
新株予約権	784	336
純資産合計	4,210,217	5,274,542
負債純資産合計	10,548,167	11,650,372

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
完成工事高	6,369,877	7,180,757
完成工事原価	4,924,812	5,328,342
完成工事総利益	1,445,064	1,852,414
販売費及び一般管理費	515,044	508,105
営業利益	930,019	1,344,309
営業外収益		
受取利息	417	350
受取配当金	1,743	1,494
投資有価証券売却益	8,154	1,926
保険解約返戻金	630	558
投資不動産賃貸料	29,038	7,262
受取家賃	9,847	9,930
鉄屑売却収入	20,758	19,725
その他	10,002	11,686
営業外収益合計	80,592	52,934
営業外費用		
支払利息	39,995	27,509
不動産賃貸費用	11,238	3,113
その他	25,409	13,481
営業外費用合計	76,643	44,103
経常利益	933,969	1,353,140
特別利益		
固定資産売却益	-	49
受取和解金	12,269	-
特別利益合計	12,269	49
特別損失		
固定資産売却損	5,869	8,461
固定資産除却損	5,928	18,210
特別損失合計	11,797	26,672
税金等調整前四半期純利益	934,442	1,326,517
法人税、住民税及び事業税	7,325	7,786
法人税等調整額	1,431	4,607
法人税等合計	8,757	3,178
少数株主損益調整前四半期純利益	925,684	1,323,338
四半期純利益	925,684	1,323,338

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	925,684	1,323,338
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,861	4,769
その他の包括利益合計	18,861	4,769
四半期包括利益	906,823	1,328,108
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	906,823	1,328,108

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

受取手形割引高

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
	106,437千円	千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
減価償却費	96,063千円	108,463千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

平成26年3月27日開催の当社第49期定時株主総会決議に基づき、平成26年5月1日付で資本金4,442,968千円を減少し、その他資本剰余金に振替えるとともに、その他資本剰余金1,166,089千円をその他利益剰余金に振替え、欠損填補を行っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が4,442,968千円減少し、その他資本剰余金が3,276,878千円及びその他利益剰余金が1,166,089千円それぞれ増加しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年3月30日 定時株主総会	普通株式	177,716	20.00	平成26年12月31日	平成27年3月31日	利益剰余金
平成27年8月3日 取締役会	普通株式	88,998	10.00	平成27年6月30日	平成27年9月14日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	PCカーテン ウォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,934,088	257,278	6,191,366	178,510	6,369,877		6,369,877
セグメント間の内部売上高 又は振替高				3,709	3,709	3,709	
計	5,934,088	257,278	6,191,366	182,220	6,373,587	3,709	6,369,877
セグメント利益又はセグメント損失()	939,507	5,727	933,779	5,559	928,219	1,800	930,019

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業(不動産賃貸事業を含む)であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失()の調整額1,800千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	PCカーテン ウォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,778,058	364,780	7,142,839	37,918	7,180,757		7,180,757
セグメント間の内部売上高 又は振替高				4,575	4,575	4,575	
計	6,778,058	364,780	7,142,839	42,493	7,185,333	4,575	7,180,757
セグメント利益又はセグメント損失()	1,365,035	20,500	1,344,535	1,418	1,343,116	1,192	1,344,309

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業(不動産賃貸事業を含む)であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失()の調整額1,192千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	105円25銭	148円76銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	925,684	1,323,338
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	925,684	1,323,338
普通株式の期中平均株式数(株)	8,795,316	8,895,576
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	104円40銭	148円50銭
(算定上の基礎)		
普通株式増加数(株)	71,246	15,820
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第51期(平成27年1月1日から平成27年12月31日まで)中間配当について、平成27年8月3日開催の取締役会において、平成27年6月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額 88,998千円
 1株当たりの金額 10円00銭
 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 平成27年9月14日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年11月12日

高橋カーテンウォール工業株式会社
取締役会 御中

八重洲監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 原 田 一 雄 印

代表社員
業務執行社員 公認会計士 三 井 智 宇 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている高橋カーテンウォール工業株式会社の平成27年1月1日から平成27年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成27年7月1日から平成27年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成27年1月1日から平成27年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、高橋カーテンウォール工業株式会社及び連結子会社の平成27年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。